

T O S L I N E - S 2 0 L P

ローダソフトウェア

取扱説明書

[ループ S - L S]

9 7 年 1 月

株式会社 **東芝**

目 次

1 . はじめに	3
2 . 操作の前に	4
2 . 1 ループS-L Sとは	
2 . 2 操作手順	
2 . 3 画面の見方	
2 . 4 基本的キー	
3 . ロードの立ち上げ	8
3 . 1 ステーションの接続	
3 . 2 ロードソフトの起動	
3 . 3 起動画面	
4 . 操作	10
4 . 1 基本メニュー画面	
(1) 機能	
(2) 操作方法	
4 . 2 設定情報	12
4 . 2 . 1 機能	
4 . 2 . 2 画面	
4 . 2 . 3 ステーション全情報	
4 . 2 . 4 スキャン伝送情報	
4 . 2 . 5 ステーション制御情報	
4 . 3 データアクセス	32
4 . 3 . 1 機能	
4 . 3 . 2 画面	
4 . 3 . 3 スキャンエリアのアクセス	
4 . 4 R A S 情報	39
4 . 4 . 1 機能	
4 . 4 . 2 画面	
4 . 4 . 3 オンラインマップ	
4 . 4 . 4 ループマップ	
4 . 4 . 5 ステーションステータス	
4 . 4 . 6 ステーションダウン情報	

4.5	回線要求	47
4.5.1	機能	
4.5.2	画面	
4.5.3	オンライン要求	
4.5.4	スタンバイ要求	
4.6	テスト要求	52
4.6.1	機能	
4.6.2	画面	
4.6.3	ハードウェアテスト	
4.6.4	ステーション折り返しテスト	
4.7	ステーション接続図	58
4.7.1	機能	
4.7.2	画面	
4.7.3	接続図表示	
4.7.4	並び替え	
5.	終了	64

1 . はじめに

本書は、データ伝送装置 T O S L I N E - S 2 0 L P のローダソフトウェア（ループ S - L S ）について説明します。

以後、本書では T O S L I N E - S 2 0 L P を T L - S 2 0 L P と記述します。

T L - S 2 0 L P の説明書は、次の構成を取っています。目的に応じて御参照下さい。

・ 概要編 6 E 3 B 0 7 0 0

T L - S 2 0 L P の概要と仕様について述べています。
本装置を導入する場合、T L - S 2 0 L P システム全体の概略を把握・理解するためにお読み下さい。

・ 機能編 6 E 3 B 0 7 0 1

システム設計を行う場合、T L - S 2 0 L P の機能を理解し、T L - S 2 0 L P に接続する機器のソフトウェア設計をする上で、伝送機能とソフトウェアの取扱いを理解するためにお読み下さい。

・ 据え付け・配線編 6 E 3 B 0 7 0 2

工事担当者が T L - S 2 0 L P の据え付け・配線を行うための要領を述べています。

・ 保守・点検編 6 E 3 B 0 7 0 3

運用者が保守・点検を行うための点検方法、及び、障害発生時のトラブルシューティング方法について述べています。

・ ロータソフトウェア（ループ S - L S ）（本書） 6 E 3 B 0 7 0 4

ループ S - L S を使用してシステムの保守監視、及び、ステーションの情報設定を行う方法について述べています。

以下の取扱い説明書は、ステーション種別毎の説明書です。
システム設計者、装置設計者、及び、保守担当者が T L - S 2 0 L P を組み込んで使用するうえで装置側の設計を行うためにお読み下さい。
なお、装置側の設計を行うためには、装置本体の説明書も併せてお読み下さい。

- ・ T 3 H ステーション（ S N 3 2 5 ） 6 E 3 B 0 7 2 1
- ・ P 5 シリーズ P I / O バスステーション（ P T L S 9 ） 6 E 3 B 0 7 2 0
- ・ ストップバーシステム S B L 2 2 ステーション 6 E 3 B 0 7 2 2
- ・ 光リピータ S B R 2 2 6 E 3 B 0 7 2 3

2 . 操作の前に

2 . 1 ループS-L Sとは・ ・

ループS-L Sは、J - 3 1 0 0 (DOS/V)を利用してステーションの状態の監視、制御データの読み出し/書き込み、及びパラメータの設定等を行うローダソフトウェアです。

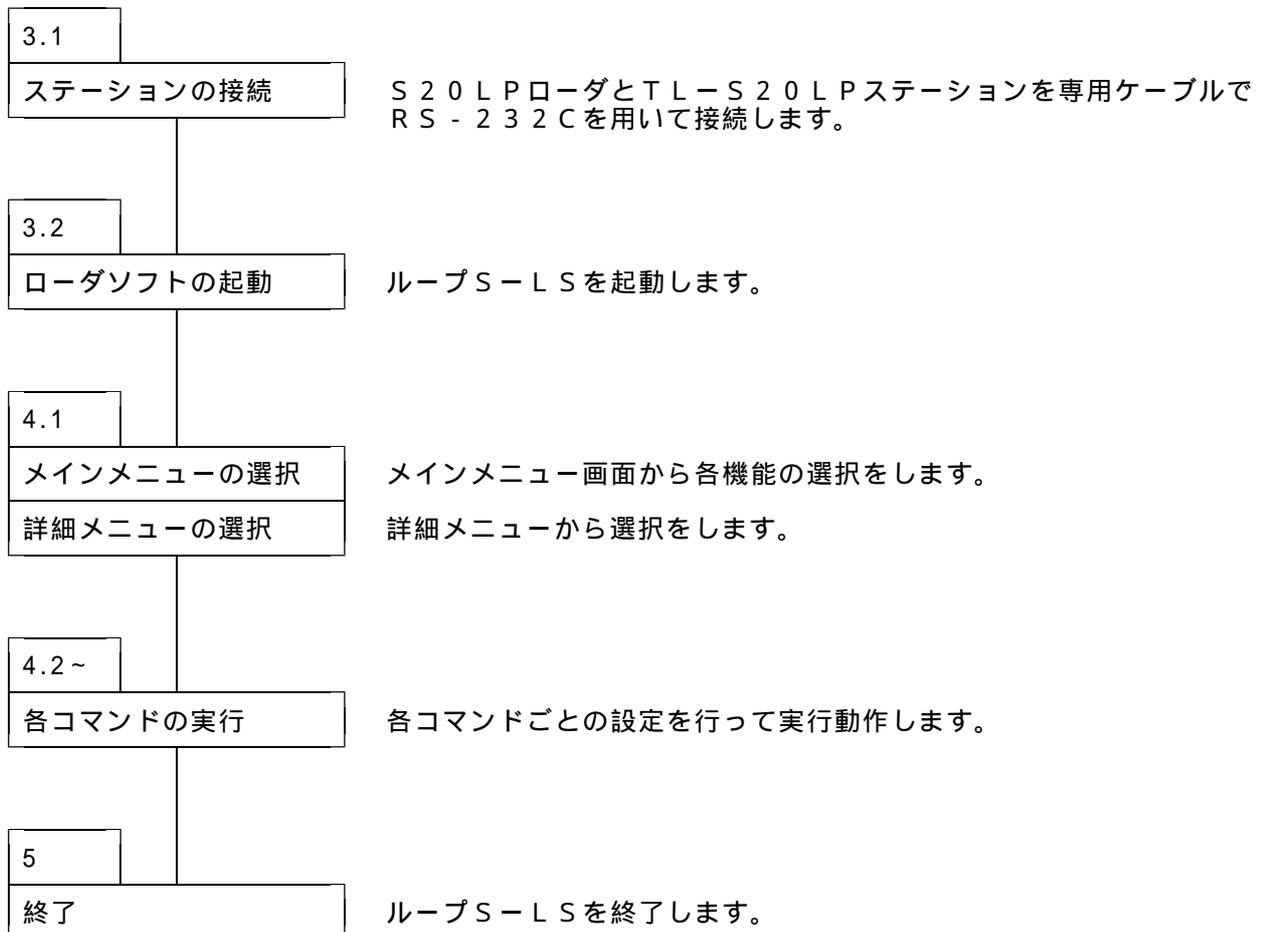
(注)本ソフトウェアを使用する場合、日本語MS - DOSのバージョン5 . 0以上を使用してください。

以後、本書ではループS-L Sを組み込んでいるJ - 3 1 0 0をS 2 0 L Pローダと記述します。

ソフト名称	ローダソフトウェアパッケージS - L S
製品コード	SMM23V*SS
バージョン	Ver . 2 . 0

2.2 操作手順

このマニュアルでは、次の順序に従って本ソフトを実行できます。



この操作手順をループS-L Sのメニュー階層で表すと下図のようになります。
《 》はこのマニュアルでの操作手順です。

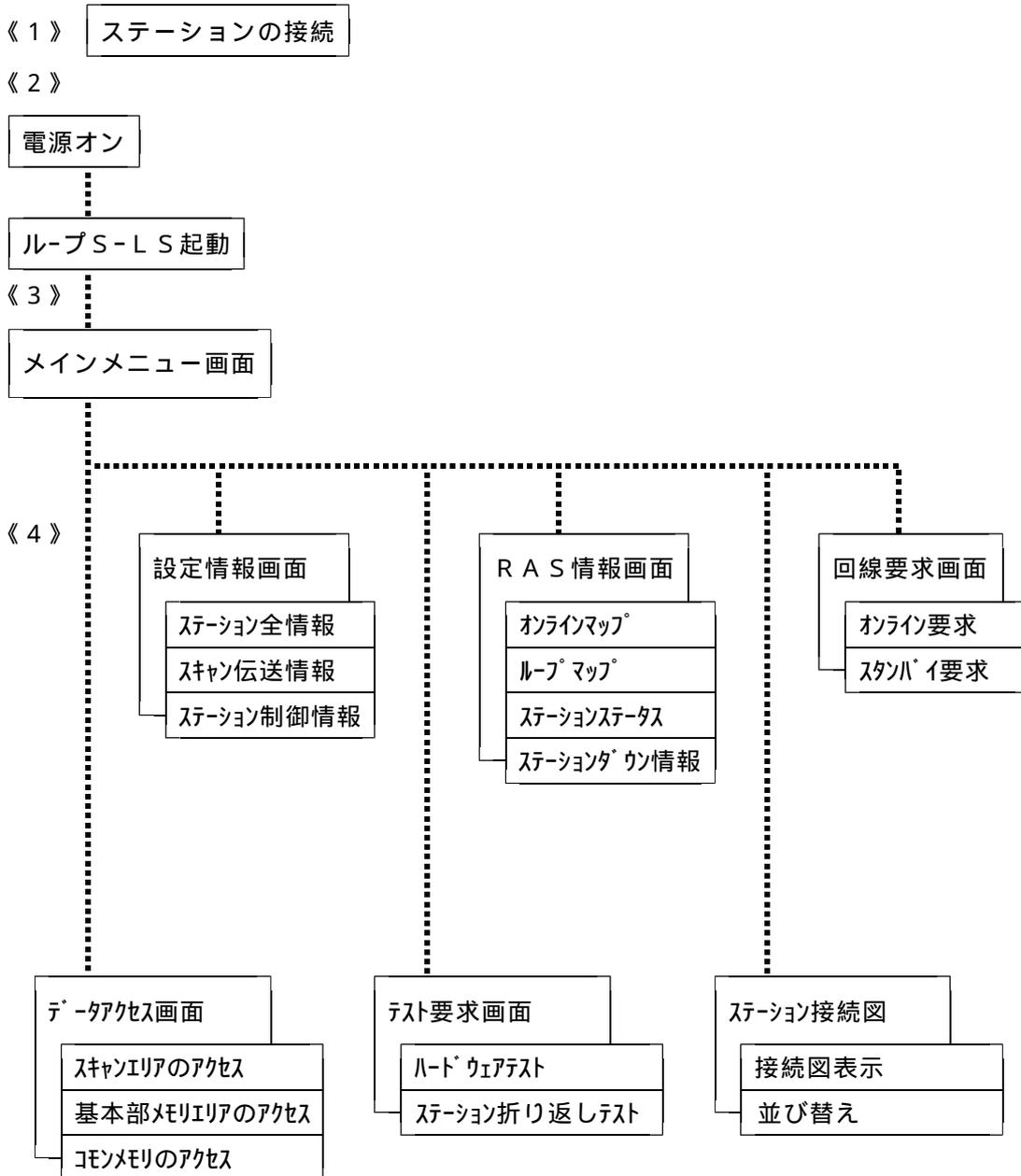


図 2 . 1 ループS-L Sのメニュー階層

2.3 画面の見方

ループS-L Sの操作画面は、次のように構成されています。

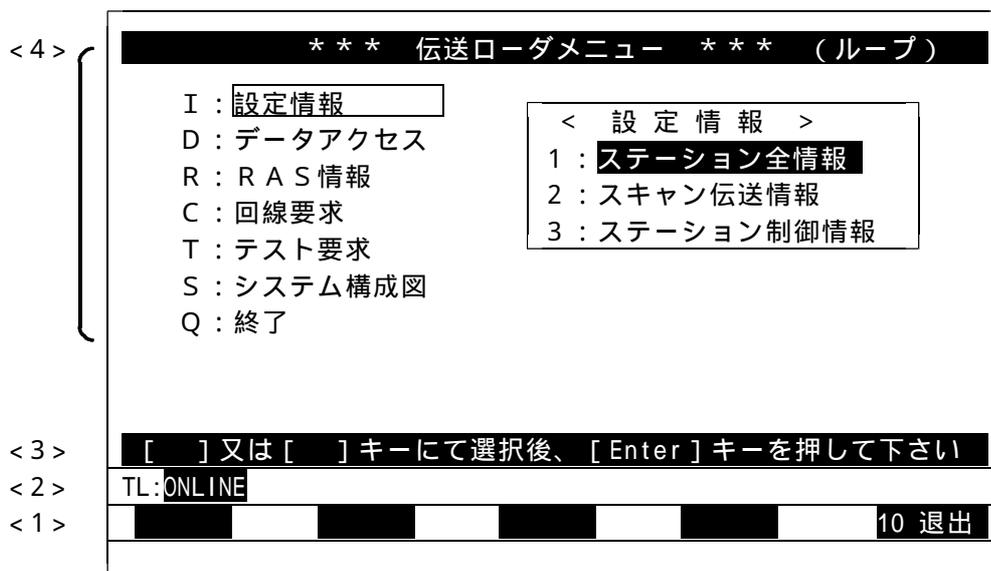


図 2.2 ループS-L Sの操作画面

< 1 > コマンド選択ライン

[F 1] ~ [F 1 0] キーで指定できます。

< 2 > 本ロードが接続しているステーションの状態と< 1 >で選択したコマンドを表示します。

< 3 > 補助説明を表示します。

< 4 > メニュー画面、情報設定画面、回線状態の画面が表示されます。

2.4 基本的キー

- [Enter] キー ----- 情報の確定をします。
- [E S C] キー ----- メインメニュー画面に戻ります。
- [F 1 0] キー ----- 退出キーのことで、前画面に戻ります。
- 設定キー ----- 設定モードとなり設定値の入力、変更が可能となります。
- 登録キー ----- 登録モードとなり、実行の確認待ちとなります。
- 次頁キー ----- 次画面が表示されます。
- 連続キー ----- 連続モードに変わります。
- ステップキー ----- ステップモードに変わります。
- アップキー ----- 次のアドレスのデータを読み出し、表示します。
- ダウンキー ----- 前のアドレスのデータを読み出し、表示します。
- 1 0 進数キー ----- 表示形式が1 0 進数に変わります。
- 1 6 進数キー ----- 表示形式が1 6 進数に変わります。

メニューを選択するときは、[] [] [] [] キーで指定して [Enter] キーを押すか、項目の前に表示されている英数字をキーボードから入力して下さい。

3 . S 2 0 L P ロードの立ち上げ

3 . 1 ステーションの接続

S 2 0 L P ロードと T L - S 2 0 L P ステーションを専用ケーブルを使用して R S - 2 3 2 C で接続します。これにより、接続されたステーションおよび伝送ケーブルでつながっている他のステーションの設定・監視を行うことができます。

伝送ケーブルは以下のものを使用し、J - 3 1 0 0 のシリアル I / O ポート (D - SUB 9 ピンコネクタ) と T L - S 2 0 L P ステーションの LOADER 用ポート (D - SUB 9 ピンコネクタ) を接続します (ケーブルは接続機器によって異なります) 。

T 3 H ステーション用伝送ケーブル

製品コード ----- T C J 9 0 5 * C S
仕様 ----- 両端 9 ピン D - S U B コネクタ
(J - 3 1 0 0 側 : メス , ステーション側 : オス)
長さ : 5 メートル

P C S ステーション用伝送ケーブル

製品コード ----- 5 X 8 C 0 0 0 3 G * *
仕様 ----- 両端 9 ピン D - S U B コネクタ
(J - 3 1 0 0 側 : メス , ステーション側 : メス)
長さ : * * メートル

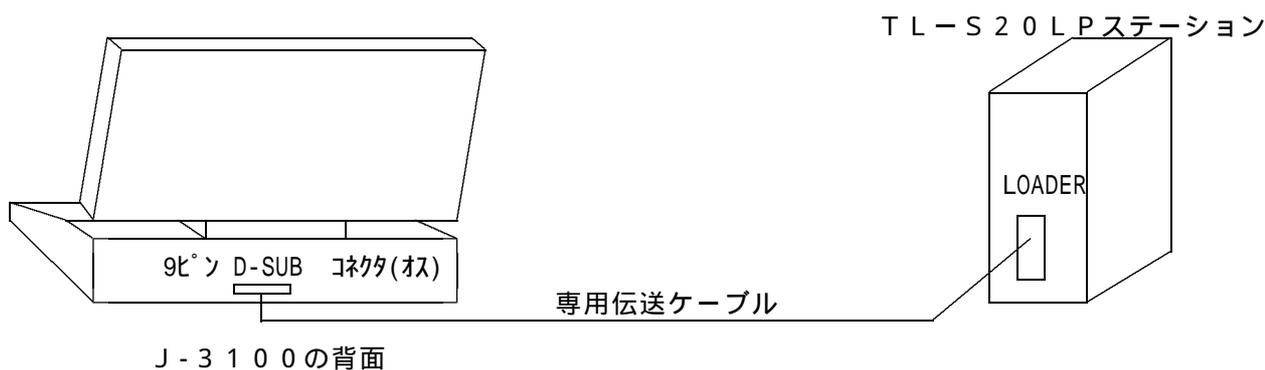


図 3 . 1 ケーブルの接続

3 . 2 ロードソフトウェアの起動

ロードソフトウェアを起動します。

フロッピーディスクからの起動

電源を入れ、MS - D O S が立ち上がったらディスクをドライブ A に挿入し、キーボードから [A] [:] [Enter] と入力します。 " A : ¥ > " と表示されたら、キーボードから [S] [L] [S] と入力し、 [Enter] キーを押して下さい。

ロードソフトが起動し、起動画面が表示された後に、基本メニュー (メインメニュー) が表示されます (この時 " *** 伝送ロードメニュー *** (ループ) " が表示されますのでご確認ください) 。

3.3 起動画面

(1) 内容

S20LPローダ起動画面には、次の内容を表示します。

(起動画面の表示は2秒程で、次画面の基本メニューに変わります。)

ソフトウェア名称

ローダソフトウェアパッケージ ループS - LS

バージョン

Ver. 2.0

著作権 年号

(株)東芝 1996

(2) 表示

下図の起動画面を表示します。



図3.2 起動画面

4 . 操作

4 . 1 基本メニュー画面

(1) 機能

S 2 0 L P ロードには、次の基本メニューを表示します。各コマンドの概要は次の通りです。

設定情報

各ステーションの伝送情報を設定する時に使用します。

データアクセス

スキャンデータを読み出し / 書き込みします。

R A S 情報

ステーションの状態を監視する場合に使用します。

回線要求

ステーションのオンライン / スタンバイを指定します。

テスト要求

テストコマンドを発行してステーションの動作チェックを行います。

ステーション接続図

現状システムのステーションの接続状態を図示します。

終了

本ソフトを終了します。

(2) 操作方法

ループ S - L S が立ち上がると、下図の『メインメニュー画面』を表示します。
この画面から各機能への選択が可能となります。

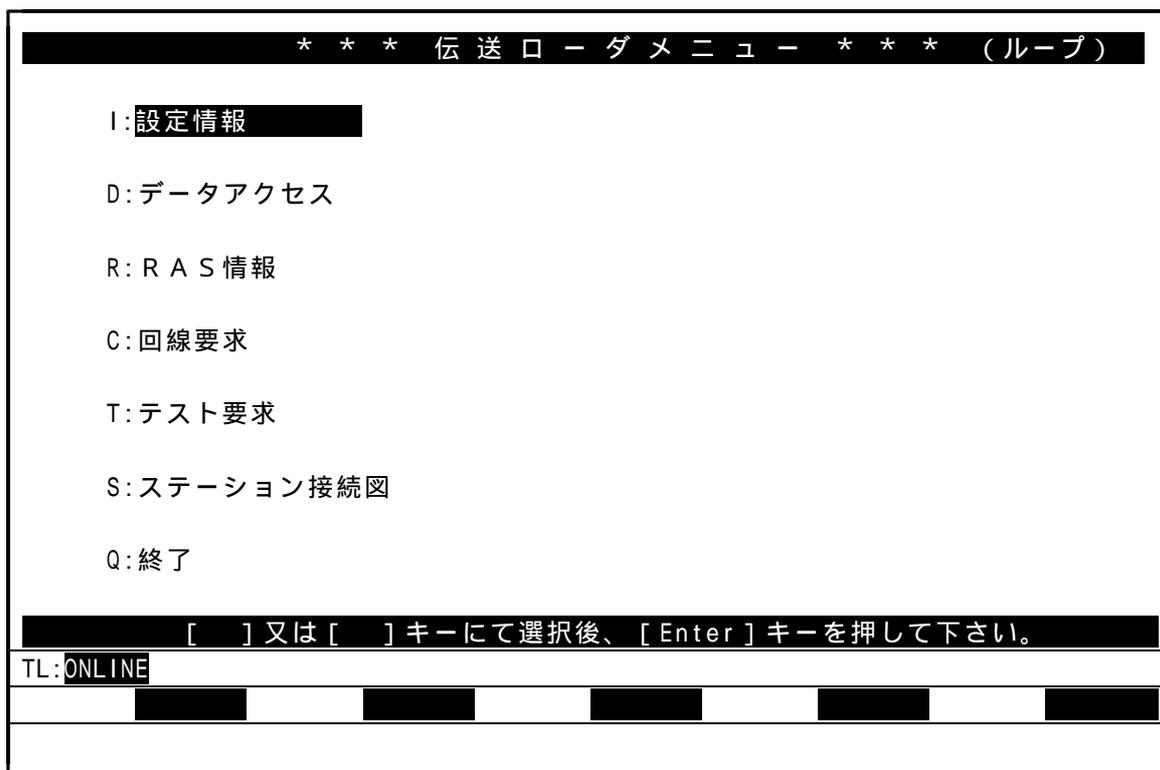


図 4 . 1 メインメニュー画面

メインメニュー画面から選択をします。

キーボード上の矢印キー []、[] でカーソルを移動させ、[Enter] キーを押して機能を選択するか、または、機能項目の前に表示されている英字 (I, D, R, C, T, S) をキー入力することにより、機能を選択して下さい。機能が選択されると、選択された機能項目の部分が網掛け表示になります。

メインメニュー画面から選択すると、次画面のように詳細メニューを問い合わせてきます。ここでは、例として、[I : 設定情報] を選択しています。

* * * 伝 送 ロ ー ダ メ ニ ュ ー * * * (ループ)	
I: 設定情報	< 設 定 情 報 > 1: ステーション全情報 2: スキャン伝送情報 3: ステーション制御情報
D: データアクセス	
R: R A S 情報	
C: 回線要求	
T: テスト要求	
S: ステーション接続図	
Q: 終了	
[] 又は [] キーにて選択後、[Enter] キーを押して下さい。	
TL: ONLINE	
	10 退出

図 4 . 2 設定情報 詳細メニュー

4.2 設定情報

4.2.1 機能

ステーションの伝送パラメータを設定します。ステーションは電源を投入すると内部のEEPROMの中に格納されている設定情報で動作を開始します。この時、EEPROMにあらかじめ設定情報が格納されていない場合はスタンバイ状態となり、設定情報待ちとなります。このような設定待ち、及び、既に起動しているステーションの設定情報を変更する場合に本機能を使用します。

注) 動作中に情報を変更する場合は、一度ステーションを回線要求でスタンバイ状態にする必要があります。回線要求の方法については後述してありますので御覧下さい。

なお、設定情報にはステーションの設定をすべて行う『1:ステーション全情報』と、個々に設定を行うことができる『2:スキャン伝送情報』、『3:ステーション制御情報』があります。

4.2.2 画面

メインメニュー画面で『I:設定情報』を選択すると、次画面のように詳細メニューを問い合わせてきます。

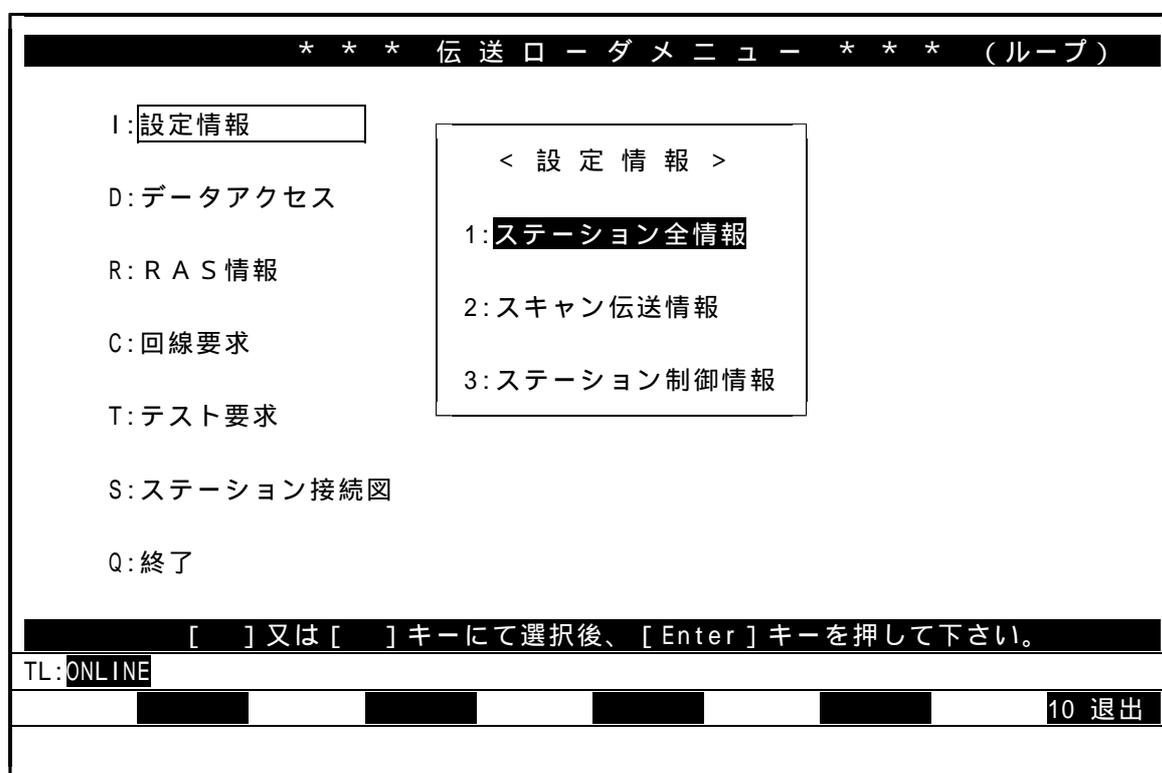


図 4.3 設定情報 詳細メニュー

詳細メニュー画面から機能を選択します。

キーボード上の矢印キー []、[] でカーソルを移動させ、[Enter] キーを押して機能を選択するか、または機能項目の前に表示されている数字 (1, 2, 3) をキー入力して下さい。機能が選択されると、選択された機能項目の部分が反転表示されます。

詳細項目が選択されると、各データアクセス画面が表示されます。

4 . 2 . 3 ステーション全情報

ここでは、スキャン伝送情報、ステーション制御情報を一括に行います。

【1】スキャン伝送情報画面の設定

設定情報詳細メニューで『1：ステーション全情報』を選択すると、次のスキャン伝送情報の設定画面が表示されます。

ステーション全情報			
< スキャン伝送情報 >			
1. ステーションNO.	(1 - 64)	[■]	
2. ステーション種別			
3. 送信先頭アドレス1	(0 - 4095)	[]	
4. 送信ワード数1	(0 - 1024)	[]	
5. 送信先頭アドレス2	(0 - 4095)	[]	
6. 送信ワード数2	(0 - 1024)	[]	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> ステーションNo.を入力して[Enter]キーを押して下さい。 </div>			
TL: ONLINE 設定情報			
9 回線 10 退出			

図 4 . 4 設定情報 スキャン伝送情報

- (1) ステーションNo.をキー入力して、[Enter]キーを押して下さい。
指定したステーションのスキャン情報を読み出し、画面に表示します。

なお、このステーションNo.をキー入力してから指定の要求テキストを読み出し、情報が画面に表示されるまで、情報読み出し要求中として、画面の下の方に**読み出し**を表示します。

- (2) ステーション No . (この場合、ステーション No . 0 1) を入力すると、次画面のように、以前に設定してあったデータが表示されます。

ステーション全情報			
< スキャン伝送情報 >			
1. ステーション NO .	(1 - 64)	[01]	
2. ステーション種別		T3H STN	
3. 送信先頭アドレス 1	(0 - 4095)	[0512]	
4. 送信ワード数 1	(0 - 1024)	[0128]	
5. 送信先頭アドレス 2	(0 - 4095)	[0640]	
6. 送信ワード数 2	(0 - 1024)	[0128]	
TL: ONLINE 設定情報			
1 設定	2 次頁		9 回線 10 退出

図 4 . 5 設定情報 スキャン伝送情報

- (3) ここで、設定 [F1] キーを押すと設定モードとなり、送信先頭アドレス 1 ・送信ワード数 1 ・送信先頭アドレス 2 ・送信ワード数 2 (3 ~ 6) に対して、設定値の入力・変更が可能となります。また、設定モードになると、現在のコマンドの状態として画面下に **設定** が表示されるので、矢印キー []、[] でカーソルを移動させて、位置を指定し、設定値の入力・変更を行って下さい。
- なお、数字以外の文字をキー入力したり、項目の数値設定に適切な値でなければ、警告ブザーが鳴り、エラーメッセージが表示されます。
- (4) 設定値の入力が終了したら登録 [F4] キーを押し、登録モードにします。登録モードでは、実行の確認待ちをし、次のように確認を問い合わせてきます。

実行して良いですか。

Y: 実行 N: 中止

登録処理を中止したい時は、" N " をキー入力するか、または矢印キー []、[] により『N: 中止』の位置にカーソルを移動させ、[Enter] キーを押して実行を中止して下さい。

- (5) 登録処理を実行したい時は、” Y ” をキー入力するか、または矢印キー []、[] により『Y:実行』の位置にカーソルを移動させ、[Enter] キーを押して下さい。正常に登録処理が行われた時には以下のメッセージが表示され、登録処理を終了します。

登録処理が完了しました。
何かキーを押して下さい。

なお、異常終了した時は、異常内容を表示して警告ブザーが鳴ります。

(異常内容を表示する)
何かキーを押して下さい。

ステーションがオンライン時に登録処理を実行しますと、以下の異常内容が表示されますのでスタンバイ要求して下さい。

0419:ステーションモード異常
何かキーを押して下さい。

- (5) スタンバイ要求を実行したい時は [F9] キー “ 回線 ” を選択し、< 回線要求 > の2:スタンバイ要求を選択して下さい。次ページの図 4 . 6 ステーション全情報 [F 9] 回線要求を御覧下さい。

本機能は、基本メニュー画面の回線要求の機能と同様です。

[F9] キー “ 回線 ” が選択されると、以下の画面を表示します。

ステーション全情報			
< スキャン伝送情報 >			
1. ステーションNO .	(1 - 64)	[01]	
2. ステーション種別		T3H STN	
3. 送信先頭アドレス 1	(0 - 4095)	[0512]	
4. 送信ワード数 1	(0 - 1024)	[0128]	
5. 送信先頭アドレス 2	(0 - 4095)	[0640]	
6. 送信ワード数 2	(0 - 1024)	[0128]	
< 回線要求 >			
1: オンライン要求		2: スタンバイ要求	
TL: ONLINE	設定情報	回線	
			10 退出

図 4 . 6 ステーション全情報 [F 9] 回線要求

矢印キー []、[] でカーソルを移動させ、[Enter] キーを押すことにより回線要求の項目を選択することができます。

また、数値 (1、2) をキー入力することにより詳細項目を選択することもできます。

- (6) “ 2: スタンバイ要求 ” にカーソルを移動させ、[Enter] キーを押します。
ステーションNo . をキー入力して、[Enter] キーを押して下さい。

< スタンバイ要求 > ステーションNo . (1 ~ 64) を入力して [Enter] を押して下さい。 [■]

実行が正常に行われた時には、**ONLINE** 表示が **STANDBY**、**オンライン** 表示が **スタンバイ** に変わり、以下のメッセージが表示されます。

処理を完了しました。
何かキーを押して下さい。

回線がスタンバイ状態になったら、再度（４）の登録処理を行って下さい。
正常に登録処理が行われ、以下のメッセージが表示されて登録処理を終了します。

登録処理が完了しました。
何かキーを押して下さい。

登録処理終了後、再度回線要求でオンライン要求を、スタンバイ要求と同様の手順で行います。

- （７）画面の次頁 [F2] キーを押すと、スキャン伝送情報画面からステーション制御情報設定画面に変わります。

なお、特殊キーには次の働きがあります。

退出 [F10] キー : ステーション No. の入力待ち状態の時は、メインメニュー画面に戻ることができます。それ以外の画面状態の時にキーを押すと、現在の状態の前の画面状態に戻ります。

[Esc] キー : メインメニュー画面に戻ります。

【 2 】ステーション制御情報画面の設定

スキャン伝送情報画面の次頁 [F2] キーを押すと、スキャン伝送情報で指定した下図のステーション制御情報設定画面が表示されます。

ステーション全情報	
< ステーション制御情報 >	
1. ステーションNO .	(1 - 64) 01
2. スキャン伝送	禁止 <u>許可</u>
3. スキャンアクセス	1 W <u>2 W</u>
4. メッセージ伝送	禁止 <u>許可</u>
5. 目標サイクル時間	[49.2] m s e c
6. スタンバイ立ち上げ	<u>する</u> しない
TL: ONLINE 設定情報	
1 設定	10 退出

図 4 . 7 設定情報 ステーション制御情報

- (1) スキャン伝送情報画面と同様に、設定 [F1] キーを押すと設定モードとなり、設定値の入力・変更が可能となります。また、設定モードになると、現在のコマンドの状態として画面下に **設定** が表示されるので、矢印キー []、[]、[]、[] で指定値の位置にカーソルを移動させて、[Enter] キーを押してデータの変更を行って下さい。

- (2) ただし、目標サイクル時間のデータの設定の時は、矢印キー []、[] を移動させて、下記の目標サイクル時間の中から選択して下さい。

1.02	16.3
2.05	20.5
3.07	24.6
4.10	28.7
5.12	32.8
6.14	36.9
7.17	41.0
8.19	45.1
9.22	49.2
10.20	53.2
11.30	57.3
12.30	61.4
13.30	
14.30	
15.40	

図 4 . 8 目標サイクル時間

- (3) データの設定を終えたら、登録 [F4] キーを押して下さい。登録モードとなり、画面は実行の確認待ちとなります。

実行して良いですか。
Y:実行 N:中止

登録処理を中止したい時は、" N " をキー入力するか、または矢印キー []、[] により『N:中止』の位置にカーソルを移動させ、[Enter] キーを押して実行を中止して下さい。

- (4) 登録処理を実行したい時は、" Y " をキー入力するか、または矢印キー []、[] により『Y:実行』の位置にカーソルを移動させ、[Enter] キーを押して下さい。正常に登録処理が行われた時には以下のメッセージが表示され、登録処理を終了します。

登録処理が完了しました。
何かキーを押して下さい。

なお、異常終了した時は、異常内容を表示して警告ブザーが鳴ります。

(異常内容を表示する)
何かキーを押して下さい。

オンライン時の異常処理は、スキャン伝送情報の回線要求の操作と同じです。以降は、スキャン伝送情報の登録モードの操作と同じです。

4 . 2 . 4 スキャン伝送情報

スキャン伝送情報の表示、設定を行います。
さらに、スキャン伝送情報に設定したデータを F D に書き込み、また F D からの読み出しが行えます。

スキャン伝送情報画面の設定

設定情報詳細メニューで『2 : スキャン伝送情報』を選択すると、次のスキャン伝送情報の設定画面が表示されます。

< スキャン伝送情報 >			
1. ステーション N O .	(1 - 64)	[■]	
2. ステーション種別			
3. 送信先頭アドレス 1	(0 - 4095)	[]	
4. 送信ワード数 1	(0 - 1024)	[]	
5. 送信先頭アドレス 2	(0 - 4095)	[]	
6. 送信ワード数 2	(0 - 1024)	[]	
ステーション N o . を入力して [Enter] キーを押して下さい。			
TL: ONLINE		設定情報	
			9 回線 10 退出

図 4 . 9 スキャン伝送情報

- (1) ステーション N o . をキー入力して、[Enter] キーを押して下さい。
指定したステーションのスキャン情報を読み出し、画面に表示します。

なお、このステーション N o . をキー入力してから指定の要求テキストを読み出し、情報が画面に表示されるまで、情報読み出し要求中として、画面下の方に「読み出し」を表示します。

- (2) 設定値の入力・変更をする時は、設定 [F1] キーを押して、設定モードで行って下さい。
設定モードの時は、現在のコマンドの状態として、画面の下の方に「設定」が表示されます。

[F1] キー “ 設定 ” を選択すると、以下の画面を表示します。

< スキャン伝送情報 >		
1. ステーションNO .	(1 - 64)	[01]
2. ステーション種別		T3H STN
3. 送信先頭アドレス 1	(0 - 4095)	[0512]
4. 送信ワード数 1	(0 - 1024)	[0128]
5. 送信先頭アドレス 2	(0 - 4095)	[0640]
6. 送信ワード数 2	(0 - 1024)	[0128]
TL: ONLINE 設定情報 設定		
4 登録 5 FD書込 6 FD読出 9 回線 10 退出		

図 4 . 1 0 スキャン伝送情報設定

- (3) データの設定を終えたら、登録 [F4] キーを押して下さい。登録モードとなり、画面は実行の確認待ちとなります。

実行して良いですか。
Y: 実行 N: 中止

登録処理を中止したい時は、“ N ” をキー入力するか、または矢印キー []、[] により『N: 中止』の位置にカーソルを移動させ、[Enter] キーを押して実行を中止して下さい。

- (4) 登録処理を実行したい時は、“ Y ” をキー入力するか、または矢印キー []、[] により『Y: 実行』の位置にカーソルを移動させ、[Enter] キーを押して下さい。正常に登録処理が行われた時には以下のメッセージが表示され、登録処理を終了します。

登録処理が完了しました。
何かキーを押して下さい。

なお、異常終了した時は、異常内容を表示して警告ブザーが鳴ります。

(異常内容を表示する)
何かキーを押して下さい。

ステーションがオンライン時に登録処理を実行しますと、下記異常内容が表示されますので、スタンバイ要求して下さい。

0419:ステーションモード異常
何かキーを押して下さい。

(5) スタンバイ要求を実行したい時は [F9] キー “ 回線 ” を選択し、 < 回線要求 > の2:スタンバイ要求を選択して下さい。

本機能は、基本メニュー画面の回線要求の機能と同様です。

[F9] キー “ 回線 ” が選択されると、以下の画面を表示します。

< スキャン伝送情報 >		
1. ステーションNO .	(1 - 64)	[01]
2. ステーション種別		T3H STN
3. 送信先頭アドレス 1	(0 - 4095)	[0512]
4. 送信ワード数 1	(0 - 1024)	[0128]
5. 送信先頭アドレス 2	(0 - 4095)	[0640]
6. 送信ワード数 2	(0 - 1024)	[0128]
< 回線要求 >		
1: オンライン要求		2: スタンバイ要求
TL: ONLINE 設定情報 回線		
		10 退出

図 4 . 1 1 [F 9] 回線要求

矢印キー []、[] でカーソルを移動させ、[Enter] キーを押すことにより回線要求の項目を選択することができます。

また、数値 (1、2) をキー入力することにより詳細項目を選択することもできます。

- (6) “ 2:スタンバイ要求 ” にカーソルを移動させ、 [Enter] キーを押します。
ステーションNo. をキー入力して、 [Enter] キーを押して下さい。

<スタンバイ要求>
ステーションNo. (1 ~ 64) を入力して [Enter] を押して下さい。 [■]

実行が正常に行われた時には、 **ONLINE** 表示が **STANDBY** 、 **オンライン** 表示が **スタンバイ** に
変わり、以下のメッセージが表示されます。

処理を完了しました。
何かキーを押して下さい。

回線がスタンバイ状態になったら、再度 (4) の登録処理を行って下さい。
正常に登録処理が行われ、以下のメッセージが表示されて登録処理を終了します。

登録処理が完了しました。
何かキーを押して下さい。

登録処理終了後、再度回線要求でオンライン要求を、スタンバイ要求と同様の手順で行い
ます。

- (7) [F5] キーの入力により “ スキャン伝送情報の F D 書き込み ” 処理を、 [F6] キーの入力に
より、 “ スキャン伝送情報の F D 読み出し ” 処理を実行します。

ファイルフォーマット

指定されたファイルに下記フォーマットで保存します。

0	4	8	12	16	17	(byte)
送信先頭アドレス1	送信ワード数1	送信先頭アドレス2	送信ワード数2	CR	LF	

全 1 8 B y t e

送信先頭アドレス 1 : 4 B y t e

送信ワード数 1 : 4 B y t e

送信先頭アドレス 2 : 4 B y t e

送信ワード数 2 : 4 B y t e

C R (キャリッジ リターン) : 1 B y t e

L F (ラインフィード) : 1 B y t e

図 4 . 1 3 F D 書込ファイルフォーマット

エラー処理

指定したディレクトリに同名のファイルがあった場合は以下のメッセージを表示し、キー入力待ちにします。

同名のファイルが存在します。上書きしますか？ Y : 実行 N : 中止

[Y]、[y] キー : ファイルに情報を書き込みます。

[N]、[n] キー : 書き込み処理を中止します。

[Enter] キー : 反転表示部 (上図では “ Y : 実行 ”) を実行します。

指定したファイル名に誤りがある場合は以下のメッセージを表示し、キー入力待ちにします。

ファイル名の指定に誤りがあります 何かキーを押して下さい。

[F6] キー “ FD 読出 ” が選択されると、以下の画面を表示します。

< ファイル一覧 >			
親ディレクトリ	TYPE0011.CFG	TYPE0021.CFG	TYPE0031.CFG
¥SLSWORK2	TYPE0012.CFG	TYPE0022.CFG	TYPE0032.CFG
¥SLSWORK3	TYPE0013.CFG	TYPE0023.CFG	TYPE0033.CFG
TYPE0003.CFG	TYPE0014.CFG	TYPE0024.CFG	TYPE0034.CFG
TYPE0004.CFG	TYPE0015.CFG	TYPE0025.CFG	TYPE0035.CFG
TYPE0005.CFG	TYPE0016.CFG	TYPE0026.CFG	TYPE0036.CFG

ファイルを指定して [Enter] を押して下さい。
ディレクトリ : C:¥SLSWORK

TL: ONLINE	設定情報	設定	FD 読出
2 次項	3 ドライブ		10 退出

図 4 . 1 4 スキャン伝送情報 F D 読出

ファイルの選択

矢印キー []、[]、[]、[] でファイルを選択し [Enter] キーを押します（ディレクトリを切り替える場合も同様です）。

ファイル数（ディレクトリ数も含めて）が 24 を越える場合は画面が複数ページにまたがりますので、[F2] キーを押して画面を切り替えます。

ドライブを指定する場合は [F3] キーを押し、矢印キー []、[] で目的のドライブを選択し、[Enter] キーを押します。

読み出し処理が終了すると、スキャン伝送情報画面に戻ります。

なお、特殊キーには次の働きがあります。

退出 [F10] キーの入力で処理を中断し、スキャン伝送情報画面に戻ります。

[ESC] キーの入力で処理を中断し、メインメニューに戻ります。

4 . 2 . 5 ステーション制御情報

ステーション制御情報の表示、設定を行います。
さらに、ステーション制御情報に設定したデータを F D に書き込み、また F D から読み出しが行えます。

ステーション制御情報画面の設定

設定情報詳細メニューで『3：ステーション制御情報』を選択すると、次のステーション制御情報の設定画面が表示されます。

< ステーション制御情報 >			
1. ステーションNO .	(1 - 64)	[■]	
2. スキャン伝送	禁止	許可	
3. スキャンアクセス	1 W	2 W	
4. メッセージ伝送	禁止	許可	
5. 目標サイクル時間	[]	m s e c	
6. スタンバイ立ち上げ	する	しない	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> ステーションNo . を入力して [Enter] キーを押して下さい。 </div>			
TL: ONLINE	設定情報	■	
■	■	■	9 回線 10 退出

図 4 . 1 5 ステーション制御情報

- (1) ステーションNo . をキー入力して、[Enter] キーを押して下さい。
指定したステーションのスキャン情報を読み出し、画面に表示します。

なお、このステーションNo . をキー入力してから指定の要求テキストを読み出し、情報が画面に表示されるまで、情報読み出し要求中として、画面下の方に「読み出し」を表示します。

- (2) 設定値の入力・変更をする時は、設定 [F1] キーを押して、設定モードで行って下さい。
設定モードの時は、現在のコマンドの状態として、画面の下の方に「設定」が表示されます。

[F1] キー “ 設定 ” を選択すると、以下の画面を表示します。

< ステーション制御情報 >	
1. ステーションNO .	(1 - 64) [01]
2. スキャン伝送	禁止 <u>許可</u>
3. スキャンアクセス	1 W <u>2 W</u>
4. メッセージ伝送	禁止 <u>許可</u>
5. 目標サイクル時間	[49.2] m s e c
6. スタンバイ立ち上げ	<u>する</u> しない
TL: ONLINE 設定情報 設定	
4 登録 5 FD書込 6 FD読出 9 回線 10 退出	

図 4 . 1 6 ステーション制御情報設定

- (3) データの設定を終えたら、登録 [F4] キーを押して下さい。登録モードとなり、画面は実行の確認待ちとなります。

実行して良いですか。
Y: 実行 N: 中止

登録処理を中止したい時は、" N " をキー入力するか、または矢印キー ([]、[]) により『N: 中止』の位置にカーソルを移動させ、[Enter] キーを押して実行を中止して下さい。

- (4) 登録処理を実行したい時は、" Y " をキー入力するか、または矢印キー ([]、[]) により『Y: 実行』の位置にカーソルを移動させ、[Enter] キーを押して下さい。正常に登録処理が行われた時には以下のメッセージが表示され、登録処理を終了します。

登録処理が完了しました。
何かキーを押して下さい。

なお、異常終了した時は、異常内容を表示して警告ブザーが鳴ります。

(異常内容を表示する)
何かキーを押して下さい。

オンライン時の異常処理は、スキャン伝送情報の回線要求の操作と同じです。

ファイル名に漢字は使用できません。

書き込み処理が終了すると、ステーション制御情報画面に戻ります。

なお、特殊キーには次の働きがあります。

退出 [F10] キーの入力で処理を中断し、ステーション制御情報画面に戻ります。

[ESC] キーの入力で処理を中断し、メインメニューに戻ります。

ファイルフォーマット

指定されたファイルに下記フォーマットで保存します。

0	2	3	4	5	7	12	13	14	(byte)
ステーション	スキャン	アクセス	メッセージ	テーブルインデックス	目標サイクル時間	スタンバイ	CR	LF	

全 1 5 B y t e

ステーションNO. : 2 B y t e
 スキャン伝送 : 1 B y t e
 スキャンアクセス : 1 B y t e
 メッセージ伝送 : 1 B y t e
 目標サイクル時間(テーブルインデックス) : 2 B y t e
 目標サイクル時間 : 5 B y t e
 スタンバイ : 1 B y t e
 CR(キャリッジリターン) : 1 B y t e
 LF(ラインフィード) : 1 B y t e

図 4 . 1 8 F D 書込ファイルフォーマット

エラー処理

指定したディレクトリに同名のファイルがあった場合は以下のメッセージを表示し、キー入力待ちにします。

同名のファイルが存在します。上書きしますか？
 Y : 実行 N : 中止

[Y]、[y] キー：ファイルに情報を書き込みます。

[N]、[n] キー：書き込み処理を中止します。

[Enter] キー：反転表示部（上図では“ Y : 実行 ”）を実行します。

指定したファイル名に誤りがある場合は以下のメッセージを表示し、キー入力待ちにします。

ファイル名の指定に誤りがあります
 何かキーを押して下さい。

[F6] キー “ FD 読出 ” が選択されると、以下の画面を表示します。

< ファイル一覧 >			
親ディレクトリ	TYPE0011.STN	TYPE0021.STN	TYPE0031.STN
¥SLSWORK2	TYPE0012.STN	TYPE0022.STN	TYPE0032.STN
¥SLSWORK3	TYPE0013.STN	TYPE0023.STN	TYPE0033.STN
TYPE0003.STN	TYPE0014.STN	TYPE0024.STN	TYPE0034.STN
TYPE0004.STN	TYPE0015.STN	TYPE0025.STN	TYPE0035.STN
TYPE0005.STN	TYPE0016.STN	TYPE0026.STN	TYPE0036.STN

ファイルを指定して [Enter] を押して下さい。
ディレクトリ : C:¥SLSWORK

TL: ONLINE	設定情報	設定	FD 読出
2 次項	3 ドライブ		10 退出

図 4 . 1 9 ステーション制御情報 F D 読出

ファイルの選択

矢印キー []、[]、[]、[] でファイルを選択し [Enter] キーを押します（ディレクトリを切り替える場合も同様です）。

ファイル数（ディレクトリ数も含めて）が 24 を越える場合は画面が複数ページにまたがりますので、[F2] キーを押して画面を切り替えます。

ドライブを指定する場合は [F3] キーを押し、矢印キー []、[] で目的のドライブを選択し、[Enter] キーを押します。

読み出し処理が終了すると、ステーション制御情報画面に戻ります。

なお、特殊キーには次の働きがあります。

退出 [F10] キーの入力で処理を中断し、ステーション制御情報画面に戻ります。

[ESC] キーの入力で処理を中断し、メインメニューに戻ります。

4.3 データアクセス

4.3.1 機能

ステーションの中にあります、スキャンエリアに対してデータの読み出し / 書き込みを行います。さらに、スキャンエリアのデータをFDに書き込み、またFDからの読み出しが行えます。

4.3.2 画面

メインメニュー画面で『D：データアクセス』を選択すると、次画面のように詳細メニューを問い合わせることができます。

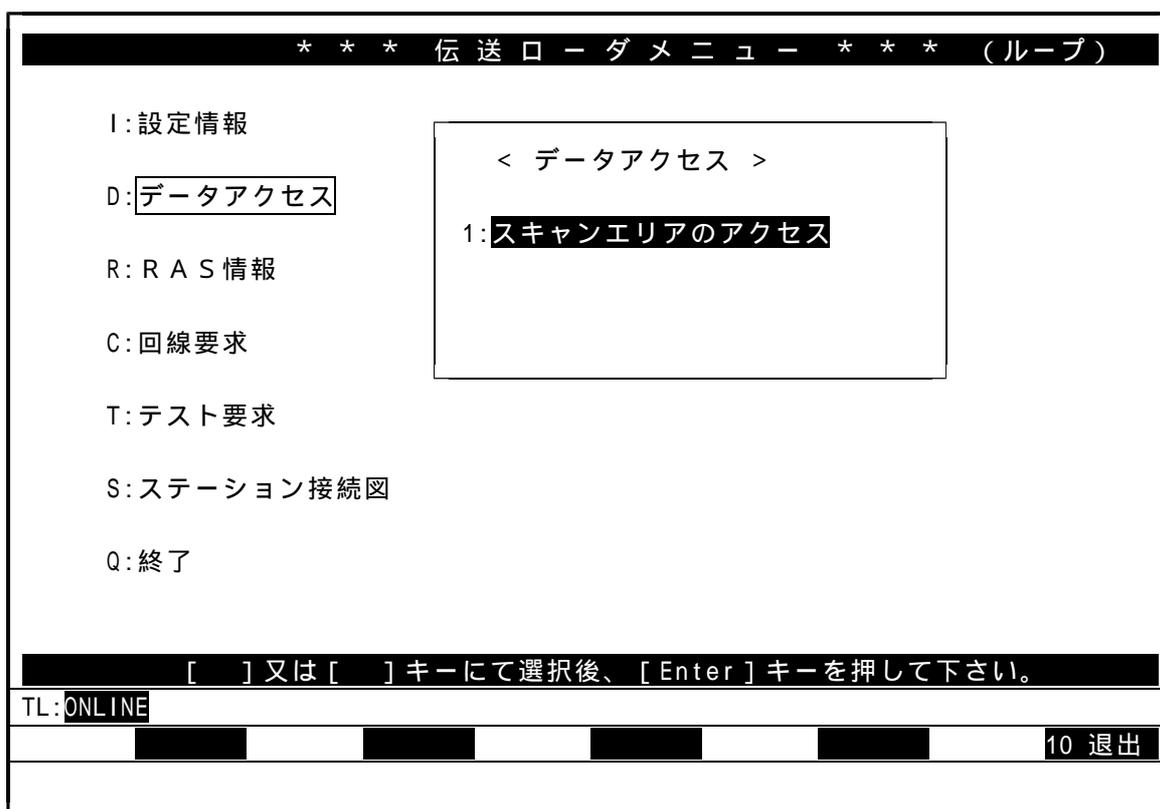


図 4.20 データアクセスの詳細メニュー

[Enter] キーを押すか、または機能項目の前に表示されている数字 (1) をキー入力して下さい。スキャンエリアのアクセス画面が表示されます。

4.3.3 スキャンエリアのアクセス

指定されたステーションのスキャンエリアを読み出し / 書き込みを行います。
さらに、スキャンエリアのデータをFDに書き込み、またFDからの読み出しが行えます。

スキャンエリアのアクセス画面

データアクセス詳細メニューで『1：スキャンエリアのアクセス』を選択すると、次のスキャンエリアのアクセス画面が表示されます。

< スキャンエリアのアクセス >	
1. ステーションNO.	(1 - 64) [■]
2. 先頭アドレス	(0 - 4095) []
3. 読み出しワード数	(1 - 16) []
4. データ	
項目1.2.3.を指定して[Enter]キーを押して下さい。	
TL: ONLINE	データアクセス
10 退出	

図4.21 データアクセス スキャンエリアのアクセス

(1) データの入力を行います。

矢印キー[]、[]でカーソルを移動させて、項目1.2.3のステーションNo.・先頭アドレス・読み出しワード数にデータをキー入力し、[Enter]キーを押して下さい。

なお、項目1.2.3のデータの入力時に、数字以外の文字をキー入力したり、項目の数値設定に適切でない値を入力した時、また指定データを入力しなかった時、下記のようにメッセージを表示し、再度入力待ち状態となります。

不正な入力です。
何かキーを押して下さい。

(2) 以上、正しく入力を終わると、画面上に指定したスキャンエリアのデータが10進数形式で、次画面のように表示されます。

なお、スキャンエリアのデータの表示形式は、10進数[F1]キー、または16進数[F2]キーにより切り替えることができます。

＜ スキャンエリアのアクセス ＞										
1.	ステーションNO.	(1 - 64)	[1]							
2.	先頭アドレス	(0 - 4095)	[0]							
3.	読み出しワード数	(1 - 16)	[16]							
4.	データ									
		0	1	2	3	4	5	6	7	
0000	[9029]	[65535]	[4369]	[2]	[4659]	[4372]	[5]	[6]		
0008	[4660]	[0]	[41251]	[0]	[65331]	[8789]	[1]	[9029]		
TL: ONLINE データアクセス ステップ										
1 10進数 2 16進数 3 設定 6 連続 7 ダウン 8 アップ 10 退出										

図4.22 データアクセス スキャンエリアのアクセス

(3) データの読み出し処理には、ステップ読み出しモードと連続読み出しモードがあり、ステップ[F5]キーまたは、連続[F6]キーによりモードの切り替えを行います。

ステップ読み出しモードとは、スキャンエリアのデータを次のキー操作により読み出しして、表示するものです。連続読み出しモードとは、同じアドレスを連続して読み出し表示するものです。

[Enter]キー : 同じアドレスのデータを再度、読み出し表示します。

アップ[F8]キー : 次のアドレスのデータを読み出し表示します。

ダウン[F7]キー : 前のアドレスのデータを読み出し表示します。

- (4) スキャンエリアのデータを入力・変更する時は、設定 [F3] キーを押し、次画面のような設定モードで行って下さい。データの入力形式は、10進数 [F1] キー、または16進数 [F2] キーによって切り替えることができます。

ただし、16進数形式でデータを入力する時は、各データの先頭には " H " が表示されるので、数字の部分だけキー入力して下さい。

例) [H0000]

スキャンエリアのアクセス	
1. ステーションNO .	(1 - 64) [1]
2. 先頭アドレス	(1 - 4095) [0]
3. 読み出しワード数	(1 - 16) [16]
4. データ	
	0 1 2 3 4 5 6 7
0000	[H2345] [HFFFF] [H1111] [H0002] [H1233] [H1114] [H0005] [H0006]
0008	[H1234] [H0000] [HA123] [H0000] [HFF33] [H2255] [H0001] [H2345]
TL: ONLINE	データアクセス 設定
1 10進数 2 16進数	4 登録 5 FD読出 6 FD書込 10 退出

図 4 . 2 3 データアクセス スキャンエリアの書き込み

- (5) データの設定を終えたら、登録 [F4] キーを押しして下さい。登録モードとなり、画面は実行の確認待ちとなります。

実行して良いですか。
Y:実行 N:中止

登録処理を中止したい時は、" N " をキー入力するか、または矢印キー ([]、[]) により『N:中止』の位置にカーソルを移動させ、[Enter] キーを押しして実行を中止して下さい。

- (6) 登録処理を実行したい時は、" Y " をキー入力するか、または矢印キー ([]、[]) により『Y:実行』の位置にカーソルを移動させ、[Enter] キーを押しして下さい。正常に登録処理が行われた時には下記のようなメッセージが表示され、登録処理を終了します。

登録処理が完了しました。
何かキーを押しして下さい。

[F5] キー “ FD 読出 ” が選択されると、以下の画面を表示します。

< ファイル一覧 >			
親ディレクトリ	TYPE0011.DT1	TYPE0021.DT1	TYPE0031.DT1
¥SLSWORK2	TYPE0012.DT1	TYPE0022.DT1	TYPE0032.DT1
¥SLSWORK3	TYPE0013.DT1	TYPE0023.DT1	TYPE0033.DT1
TYPE0003.DT1	TYPE0014.DT1	TYPE0024.DT1	TYPE0034.DT1
TYPE0004.DT1	TYPE0015.DT1	TYPE0025.DT1	TYPE0035.DT1
TYPE0005.DT1	TYPE0016.DT1	TYPE0026.DT1	TYPE0036.DT1

ファイルを指定して [Enter] を押して下さい。
ディレクトリ : C:¥SLSWORK

TL: ONLINE	設定情報	設定	FD 読出
2 次項	3 ドライブ		10 退出

図 4 . 2 6 データアクセス スキャンエリアの F D 読出

ファイルの選択

矢印キー []、[]、[]、[] でファイルを選択し [Enter] キーを押します (ディレクトリを切り替える場合も同様です)。

ファイル数 (ディレクトリ数も含めて) が 24 を越える場合は画面が複数ページにまたがりますので、[F2] キーを押して画面を切り替えます。

ドライブを指定する場合は [F3] キーを押し、矢印キー []、[] で目的のドライブを選択し、[Enter] キーを押します。

読み出し処理が終了すると、スキャン伝送情報画面に戻ります。

なお、特殊キーには、次の働きがあります。

退出 [F10] キーの入力で処理を中断し、スキャンエリアのアクセス画面に戻ります。

[ESC] キーの入力で処理を中断し、メインメニューに戻ります。

4.4 RAS 情報

4.4.1 機能

ステーションの RAS 情報の読み出しを行います。

RAS 情報の種類と内容は、次の通りです。

- オンラインマップ : システム中の全ステーションのオンライン/スタンバイ/オフライン(または、接続無し)状態を表示します。
- ループマップ : 各ステーションのループ状態を表示します。
- ステーションステータス : 各ステーションの状態を表示します。
- ステーションダウン情報 : ダウン時、そのステーションのダウン原因を表示します。

4.4.2 画面

メインメニュー画面で『R:RAS 情報』を選択すると、次画面のように詳細メニューを問い合わせてきます。

*** 伝送ローダメニュー *** (ループ)	
I:設定情報	< R A S 情報 > 1: オンラインマップ 2: ループマップ 3: ステーションステータス 4: ステーションダウン情報
D:データアクセス	
R: RAS 情報	
C:回線要求	
T:テスト要求	
S:ステーション接続図	
Q:終了	
[] 又は [] キーにて選択後、[Enter] キーを押して下さい。	
TL:ONLINE	
10 退出	

図 4.27 RAS 機能メニュー

詳細メニュー画面から選択します。

キーボード上の矢印キー([]、[])でカーソル移動させ、[Enter] キーを押して機能を選択するか、

または機能項目の前に表示されている数字(1,2,3,4)をキー入力して下さい。機能が選択されると、選択された機能項目の部分が反転表示されます。

詳細項目が選択されると、各データアクセス画面が表示されます。

4 . 4 . 3 オンラインマップ

回線に接続されているステーションのオンライン/スタンバイ/オフライン状態を表示します。

オンラインマップ画面

RAS 情報詳細メニューで『1：オンラインマップ』を選択すると、オンラインマップ情報が約3秒周期でステーションから読み込みし、次画面のように表示します。

< オンラインマップ >															
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64
TL: ONLINE		RAS情報													
															10 退出

図 4 . 2 8 R A S 情報 オンラインマップ

(1) 上記の画面のオンラインマップの意味は、次の通りです。

- スタンバイモード
- オンラインモード
- 無印 オフラインモード、またはステーション無し

(2) 接続ステーションがオフライン、またはダウン状態であれば、下記のようなメッセージを表示します。



図 4 . 2 9 R A S 情報 オンラインマップ

なお、特殊キーには、次の働きがあります。

退出 [F10] キー : 現在の状態の前の画面状態に戻ります。

[Esc] キー : メインメニュー画面に戻ります。

4 . 4 . 4 ループマップ

各ステーションのループ状態を表示します。

ループマップ画面

RAS 情報詳細メニューで『2：ループマップ』を選択すると、ループマップ情報が約3秒周期でステーションから読み込みし、次画面のように表示します。

< ループマップ >															
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64
終端局カットオフ・・・ 終端局スルー・・・・・・ 終端局端局1・・・・・・ 終端局端局2・・・・・・								一般局スルー・・・・・・ 一般局端局1・・・・・・ 一般局端局2・・・・・・							
TL: ONLINE		RAS情報													
														10 退出	

図 4 . 3 0 R A S 情報 ループマップ

- (1) 接続ステーションがオフライン、またはダウン状態であれば、下記のようなメッセージを表示します。

< ループマップ >															
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64
端末局カットオフ・・・								一般局スルー・・・・・・							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>接続ステーションがオフラインです。 何かキーを押して下さい。</p> </div>															
TL:OFFLINE				RAS情報											
														10 退出	

図 4 . 3 1 R A S 情報 ループマップ

なお、特殊キーには、次の働きがあります。

退出 [F10] キー : 現在の状態の前の画面状態に戻ります。

[Esc] キー : メインメニュー画面に戻ります。

4 . 4 . 5 ステーションステータス

指定されたステーションのステーションステータスを読み出しします。

ステーションステータス画面

RAS 情報詳細メニューで『3 : ステーションステータス』を選択すると、次のステーションステータス画面が表示されます。

< ステーションステータス >			
1. ステーションNO .	(1 - 64)	[■]	
2. 回線接続状態			
3. 親局 / 子局モード	親局	子局	
4. スキャン伝送	許可	禁止	
5. テスト	実行	不実行	
6. RCV1:TX2状態	許可	禁止	
7. RCV2:TX1状態	許可	禁止	
8. ループ状態			
ステーションNO . を入力して [Enter] キーを押して下さい。			
TL: ONLINE	RAS情報		
			10 退出

図 4 . 3 2 RAS 情報 ステーションステータス

- (1) ステーションNo . をキー入力して、[Enter] キーを押して下さい。
指定したステーションのステーションステータスを読み出して、画面に表示します。

(2) ステーションNo. (この場合No. 0 3) を入力すると、次画面のようにステーションステータスを読み出して表示します。

< ステーションステータス >			
1. ステーションNO.	(1 - 64)	[3]	
2. 回線接続状態	オンライン		
3. 親局 / 子局モード	親局	<u>子局</u>	
4. スキャン伝送	<u>許可</u>	禁止	
5. テスト	実行	<u>不実行</u>	
6. RCV1:TX2状態	<u>許可</u>	禁止	
7. RCV2:TX1状態	<u>許可</u>	禁止	
8. ループ状態	一般局		
TL: ONLINE RAS情報			
			10 退出

図 4 . 3 3 R A S 情報 ステーションステータス

なお、特殊キーには次の働きがあります。

退出 [F10] キー : ステーションNo. の入力待ち状態の時は、メインメニュー画面に戻ることができます。それ以外の画面状態の時にキーを押すと、現在の状態の前の画面状態に戻ります。

[Esc] キー : メインメニュー画面に戻ります。

4 . 4 . 6 ステーションダウン情報

接続ステーションからダウン原因を読み出します。

なお、ステーションダウン情報は、接続ステーションがダウン状態の時に実行が可能となります。

ステーションダウン情報画面

RAS情報詳細メニューで『4：ステーションダウン情報』を選択すると、接続ステーションのダウン情報を読み出し、次画面のように表示します。

< ステーションダウン情報 >			
1. ステーションNO .	(1 - 64)	5	
2. ダウン情報			
TL: ONLINE	RAS情報		
			10 退出

図 4 . 3 4 R A S 情報 ステーションダウン情報

(1) 接続ステーションがダウン状態でないときは、下記のメッセージが表示されます。

<p>オンラインモードです。 何かキーを押して下さい。</p>
--

(2) ステーションダウン状態としては、次のメッセージを表示します。

1 0 H : ウォッチ・ドック・タイム・アウト
 2 0 H : メモリバス異常
 4 0 H : M A C ジャバタイムアウト
 6 0 H : ハードウェア異常
 7 7 H : 受信バッファオーバーフロー

なお、特殊キーには、次の働きがあります。

退出 [F10] キー : 現在の前の画面状態に戻ります。
 [Esc] キー : メインメニュー画面に戻ります。

4.5 回線要求

4.5.1 機能

指定ステーションに対し、オンライン要求およびスタンバイ要求の回線要求を行います。

主として、ステーションの設定情報の変更を行う場合に使用します。その場合、オンライン状態のステーションに対してスタンバイ要求を行い、次の設定情報の変更後、オンライン要求を指定ステーションに行います。

4.5.2 画面

メインメニュー画面で『C：回線要求』を選択すると、次画面のように詳細メニューを問い合わせてきます。

*** 伝送ローダメニュー *** (ループ)	
I: 設定情報	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> < 回線要求 > 1: オンライン要求 2: スタンバイ要求 </div>
D: データアクセス	
R: R A S 情報	
C: <input type="text" value="回線要求"/>	
T: テスト要求	
S: システム構成図	
Q: 終了	
[] 又は [] キーにて選択後、[Enter] キーを押して下さい。	
TL: STANDBY	
10 退出	

図 4.35 回線情報メニュー

詳細メニュー画面から選択します。

キーボード上の矢印キー（[↑]、[↓]）でカーソルを移動させ、[Enter] キーを押して機能を選択するか、または、機能項目の前に表示されている数字（1,2）をキー入力して下さい。機能が選択されると、選択された機能項目の部分が反転表示されます。

詳細項目が選択されると、各データアクセス画面が表示されます。

4 . 5 . 3 オンライン要求

指定したステーションをオンライン状態にします。

オンライン要求設定画面

回線要求詳細メニューで『1：オンライン要求』を選択すると、次のオンライン要求設定の画面が表示されます。

< 回線要求 >	
1. ステーションNO.	(1 - 64) [■]
2. 要求種別	オンライン要求
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> ステーションNO.を入力して[Enter]キーを押して下さい。 </div>	
TL:STANDBY	回線要求
10 退出	

図 4 . 3 6 回線要求 オンライン要求

(1) ステーションNo.をキー入力して、[Enter]キーを押して下さい。

なお、特殊キーには、次の働きがあります。

退出 [F10] キー : ステーションNo.の入力待ち状態の時は、メインメニュー画面に戻ることができます。それ以外の画面状態の時にキーを押すと、現在の状態の前の画面状態に戻ります。

[Esc] キー : メインメニュー画面に戻ります。

- (2) ステーション No. を入力し終わると、実行確認待ちとなり、次画面のように確認を問い合わせてきます。

< 回線要求 >	
1. ステーション No. .	(1 - 64) [■]
2. 要求種別	オンライン要求
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>実行して良いですか。</p> <p>Y: 実行 N: 中止</p> </div>	
TL: STANDBY	回線要求
10 退出	

図 4 . 3 7 回線要求 オンライン要求

- (3) 実行を中止したい時は、" N " をキー入力するか、または矢印キー ([]、[]) により『N: 中止』の位置にカーソルを移動させ、[Enter] キーを押して実行を中止して下さい。
- (4) 実行したい時は、" Y " をキー入力するか、または矢印キー ([]、[]) により、『Y: 実行』の位置にカーソルを移動させ、[Enter] キーを押して下さい。

実行が正常に行われた時には、次のようなメッセージを表示してから実行処理を終了します。

処理を完了しました。

何かキーを押して下さい。

なお、異常処理した時は、異常内容を表示して警告ブザーが鳴ります。

(異常内容を表示する)

何かキーを押して下さい。

4 . 5 . 4 スタンバイ要求

指定したステーションをスタンバイ状態にします。

スタンバイ要求設定画面

回線要求詳細メニューで『2：スタンバイ要求』を選択すると、次のスタンバイ要求設定画面が表示されます。

< 回線要求 >	
1. スターションNO.	(1 - 64) [■]
2. 要求種別	スタンバイ要求
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> スターションNO.を入力して[Enter]キーを押して下さい。 </div>	
TL: ONLINE	スタンバイ要求
10 退出	

図 4 . 3 8 回線要求 スタンバイ要求

(1) スターションNo.をキー入力して、[Enter]キーを押して下さい。

なお、特殊キーには、次の働きがあります。

退出 [F10] キー : スターションNo.の入力待ち状態の時は、メインメニュー画面に戻ることができます。それ以外の画面状態の時にキーを押すと、現在の状態の前の画面状態に戻ります。

[Esc] キー : メインメニュー画面に戻ります。

- (2) ステーション No . を入力し終わると、実行確認待ちとなり、次画面のように確認を問い合わせてきます。

< 回線要求 >	
1. ステーション NO .	(1 - 64) [■]
2. 要求種別	スタンバイ要求
実行して良いですか。 Y: 実行 N: 中止	
TL: ONLINE	回線要求
10 退出	

図 4 . 3 9 回線要求 スタンバイ要求

- (3) 実行を中止したい時は、" N " をキー入力するか、または矢印キー ([]、[]) により『N: 中止』の位置にカーソルを移動させ、[Enter] キーを押して実行を中止して下さい。
- (4) 実行したい時は、" Y " をキー入力するか、または矢印キー ([]、[]) により、『Y: 実行』の位置にカーソルを移動させ、[Enter] キーを押して下さい。

実行が正常に行われた時には、次のようなメッセージを表示してから実行処理を終了します。

処理を完了しました。
何かキーを押して下さい。

なお、異常処理した時は、異常内容を表示して警告ブザーが鳴ります。

(異常内容を表示する)
何かキーを押して下さい。

4.6 テスト要求

4.6.1 機能

指定ステーションに対し、テキスト要求を行います。

4.6.2 画面

メインメニュー画面で『T:テスト要求』を選択すると、次画面のように詳細メニューを問い合わせてきます。

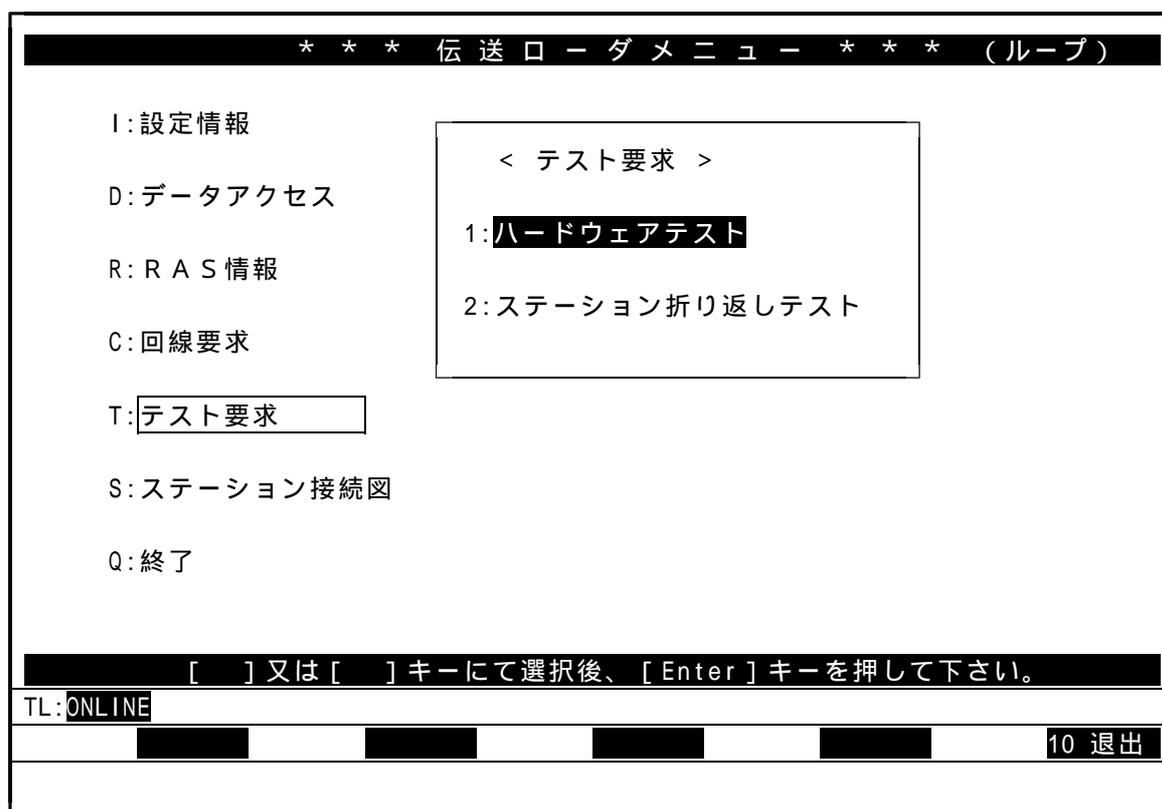


図 4.40 テスト要求メニュー

詳細メニュー画面から選択します。

キーボード上の矢印キー（[]、[]）でカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して機能を選択するか、または、機能項目の前に表示されている数字（1,2）をキー入力して下さい。機能が選択されると、選択された機能項目の部分が反転表示されます。

詳細項目が選択されると、各データアクセス画面が表示されます。

4 . 6 . 3 ハードウェアテスト

接続ステーションに対し、ROMエリア・設定スイッチ・ステーション妥当性のチェックの実行を要求します。ハードウェアは、接続ステーションがスタンバイモードの時に実行が可能となります。

なお、本機能は、システム稼動中には行わないで下さい。行う場合は、伝送ケーブルを外し、システムから切り離して実行して下さい。

ハードウェアテスト要求画面

テスト要求詳細メニューで『1：ハードウェアテスト』を選択すると、次のテスト要求画面が表示されます。

< テスト要求 >		
1. ステーションNO .	(1 - 64)	5
2. テスト回数		1
3. テスト種別	ハードウェアテスト	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>実行して良いですか。</p> <p>Y:実行 N:中止</p> </div>		
TL: STANBY テスト要求		
10 退出		

図 4 . 4 1 ハードウェアテスト要求

- (1) 接続ステーションのNo.とテスト回数は自動的に設定され、実行の確認待ちとなります。
- (2) 実行を中止したいときは、" N " をキー入力するか、または矢印キー ([] , []) により『N:中止』の位置にカーソルを移動させ、[Enter]キーを押して実行を中止して下さい。

- (3) 実行したい時は、" Y " をキー入力するか、または矢印キー ([] , []) により、『Y:実行』の位置にカーソルを移動させ、[Enter] キーを押して下さい。

実行が正常に行われた時は、次のようなメッセージを表示してから実行処理を終了します。

処理を完了しました。
何かキーを押して下さい。

なお、異常処理した時は、異常内容を表示して警告ブザーが鳴ります。

(異常内容を表示する)
何かキーを押して下さい。

また、特殊キーには、次の働きがあります。

退出 [F10] キー : 現在の状態の前の画面状態に戻ります。

[Esc] キー : メインメニュー画面に戻ります。

4 . 6 . 4 ステーション折り返しテスト

オンライン、またはスタンバイステーション間でのデータ折り返し伝送を行います。ただし、接続ステーションを相手ステーションに設定することはできません。また、本機能をシステム稼動中に使用することは避けて下さい。システム稼動中に本機能を使用すると、実システムで使用しているメッセージ伝送がビジー完了する可能性があります。

ステーション折り返しテスト要求画面

テスト要求詳細メニューで『2：ステーション折り返しテスト』を選択すると、次のテスト要求画面が表示されます。

< テスト要求 >	
1. ステーションNO .	(1 - 64) [■]
2. テスト回数	[]
3. テスト種別	ステーション折り返し
項目 1 . 2 を入力して [Enter] キーを押して下さい。	
TL: ONLINE	テスト要求
10 退出	

図 4 . 4 2 ステーション折り返し

- (1) データの入力を行います。
矢印キー ([]、[]) でカーソルを移動させて、項目 1 . 2 のステーションNo . とテスト回数にデータをキー入力して下さい。

- (2) ステーションNo.とテスト回数の設定を終えると、実行確認待ちとなり、次画面のように確認を問い合わせてきます。

< テスト要求 >		
1. ステーションNO.	(1 - 64)	[5]
2. テスト回数		[100]
3. テスト種別	ステーション折り返し	
実行して良いですか。 Y:実行 N:中止		
TL: ONLINE	テスト要求	
		10 退出

図 4 . 4 3 テスト要求ステーション折り返し

- (2) 実行を中止したい時は、" N " をキー入力するか、または矢印キー ([]、[]) により『N:中止』の位置にカーソルを移動させ、[Enter] キーを押して実行を中止して下さい。
- (3) 実行したい時は、" Y " をキー入力するか、または矢印キー ([]、[]) により、『Y:実行』の位置にカーソルを移動させ、[Enter] キーを押して下さい。

実行が正常に行われた時には、次のようにメッセージを表示してから実行処理を終了します。

処理を完了しました。 何かキーを押して下さい。

なお、異常処理した時は、異常内容を表示して警告ブザーが鳴ります。

(異常内容を表示する) 何かキーを押して下さい。

4.7 ステーション接続図

4.7.1 機能

現在、システムに接続しているステーションの接続状態・種別・スキャン伝送エリアを表示します。

4.7.2 画面

メインメニュー画面で『S：ステーション接続図』を選択すると、次画面のように詳細メニューを問い合わせてきます。

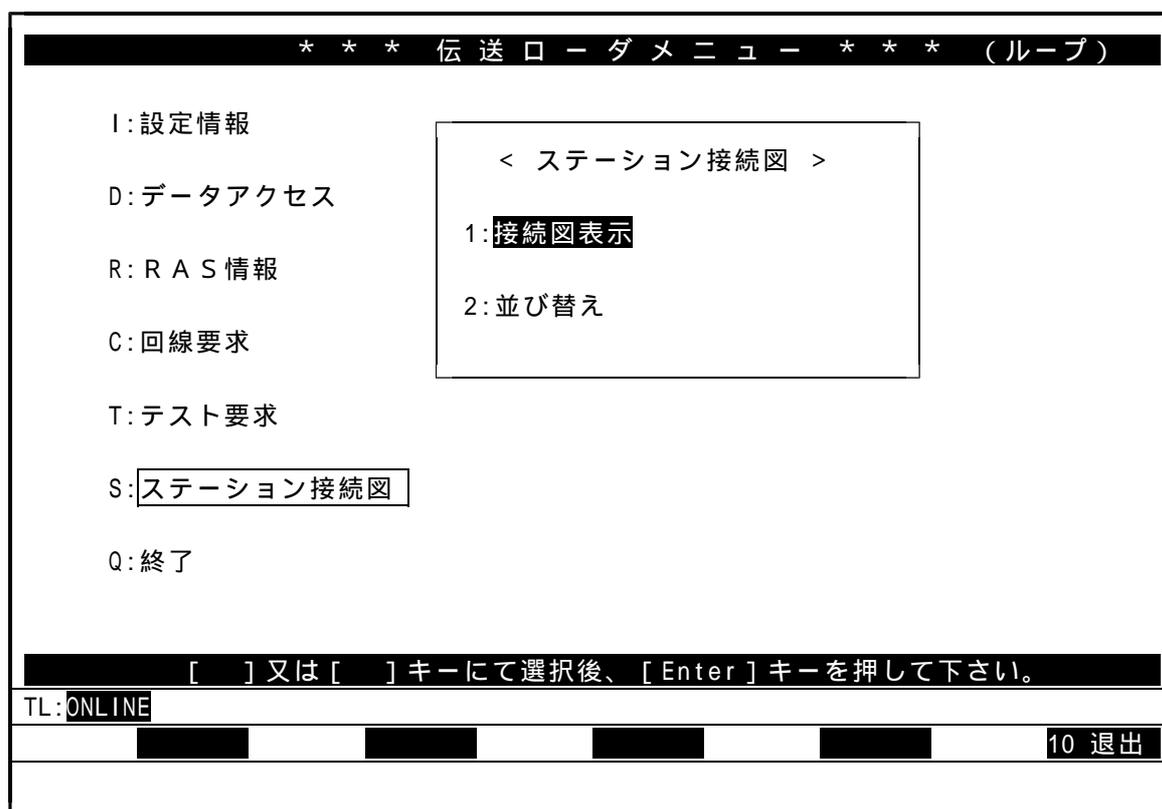


図 4.45 ステーション接続図メニュー

詳細メニュー画面から選択します。

キーボード上の矢印キー（[]、[]）でカーソルを移動させ、[Enter] キーを押して機能を選択するか、または、機能項目の前に表示されている数字（1,2）をキー入力して下さい。機能が選択されると、選択された機能項目の部分が反転表示されます。

4 . 7 . 3 接続図表示

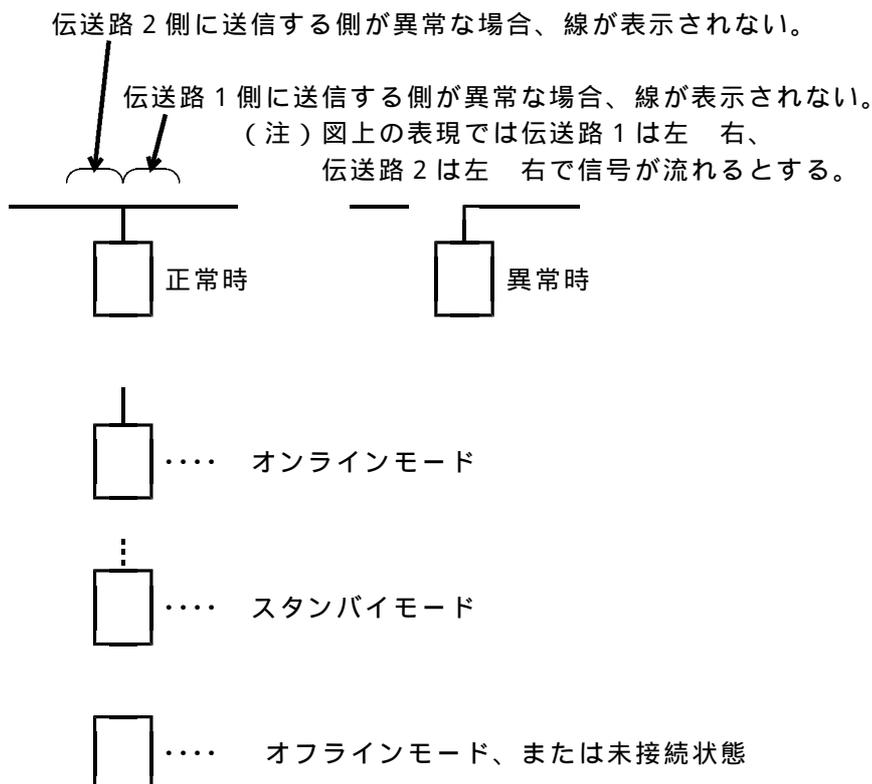
接続図表示の画面

ステーション接続図メニューで『1：接続図表示』を選択すると、次の接続図画面が表示されます。

< ステーション接続図 >								
ステーションNo.	01	02	03	04	05	06	07	08
ステーション種別	T3H	T3H	T3H	PCS	PCS	PCS	SBL	SBL
アドレス1	273	273	273	200	210	217	227	226
	308	308	308	255	216	226	235	230
アドレス2	256	256	1000	1010	1000	1010	1016	1021
	1024	1024	1005	1016	1008	1015	1020	1023
ステーションNo.	09	10	11	12	13	14	15	16
ステーション種別	9	R10	G200					
アドレス1	231	241	251					
	240	250	260					
アドレス2	890	901	911					
	900	910	930					
TL: ONLINE 接続図								
次頁 10 退出								

図 4 . 4 6 ステーション接続図

(1) ステーション接続図の意味は次の通りです。



なお、四角内の数字は各ステーションのスキャン伝送情報を表示します。

ステーションNo.	01	……ステーションNo.
ステーション種別	T3H	……ステーション種別
アドレス1	200	……第1送信先頭アドレス
	210	……第1送信最終アドレス
アドレス2	1000	……第2送信先頭アドレス
	1010	……第2送信最終アドレス

(2) 次頁 [F2] キーを押すと、次のステーション (1 6 ~ 6 4) の接続状態図を表示します。

(3) また、接続ステーションがオフライン、またはダウン状態の時は、下記のメッセージが表示されます。

接続ステーションがオフラインです。
何かキーを押して下さい。

4 . 7 . 4 並び替え

並び替え表示の画面

ステーション接続図メニューで『2：並び替え』を選択すると、次の64台分の配置指定画面が表示されます。

<ステーション接続図・並び替え画面>

	1	2	3	4	5	6	7	8									
1	< ステーション接続図の並び替え >																
2																	
3																	
4		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16
5	アドレス	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16
6	-----																
7		17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
8	アドレス	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
9	-----																
10		33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
11	アドレス	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
12	-----																
13		49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64
14	アドレス	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
21																	
22																	
23	TL: ONLINE	並替															
24	1 設定									10 退出							
25																	

図 4 . 4 7 ステーション並び替え図

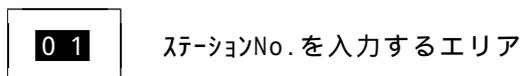
< ステーション接続図・並び替え設定画面 >

1	2	3	4	5	6	7	8										
1	< ステーション接続図の並び替え >																
2																	
3																	
4	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	
5	アドレス	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16
6	-----																
7	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	
8	アドレス	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
9	-----																
10	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	
11	アドレス	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
12	-----																
13	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	
14	アドレス	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
21																	
22																	
23	TL: ONLINE	並替		設定													
24	1 設定			4 登録	5 クリア	6 標準	7 挿入	8 削除									10 退出
25																	

図 4 . 4 8 ステーション並び替え図

(1) ステーション並び替え図の意味は次の通りです。

0 1



(2) データを入力・変更する時は、設定[F1]キー押し、設定モードで行って下さい。
 カーソルを移動して指定のステーション位置に合わせ、ステーション番号を入力する。
 存在しないステーションは"N"またはスペースを入力する。1 から 6 4 以外の数値を存在しないステーションとして見なす。

[F5]キー：全ステーションをNにします。

[F6]キー：イニシャル状態に戻します。

(3) データの設定を終えたら、登録 [F4] キーを押して下さい。登録モードとなり、画面は実行の確認待ちとなります。

実行して良いですか。
 Y:実行 N:中止

登録処理を中止したい時は、" N " をキー入力するか、または矢印キー ([]、[]) により『N:中止』の位置にカーソルを移動させ、[Enter] キーを押して実行を中止して下さい。

(4) 登録処理を実行したい時は、" Y " をキー入力するか、または矢印キー ([]、[]) により『Y:実行』の位置にカーソルを移動させ、[Enter] キーを押して下さい。正常に登録処理が行われた時には下記のようなメッセージが表示され、登録処理を終了します。

登録処理が完了しました。
 何かキーを押して下さい。

(5) 異常終了した時は、異常内容を表示して警告ブザーが鳴ります。

(異常内容を表示する)
 何かキーを押して下さい。

なお、特殊キーには、次の働きがあります。

退出 [F10] キー : ステーションNo.の入力待ち状態の時は、メインメニュー画面に戻ることができます。それ以外の画面状態の時にキーを押すと、現在の状態の前の画面状態に戻ります。

[Esc] キー : メインメニュー画面に戻ります。

5 . 終了

本ソフトを終了するには、[Esc]キー、または[F10]キーを用いてメインメニューまで戻ります。次に、矢印キー（[↑][↓]）で"Q：終了"の項目を指定して[Enter]キーを押すか、機能項目の前に表示されている"Q"をキーボードから入力して下さい。

これで、本ソフトを終了することができます。